

カルボプラチン・パクリタキセル 療法の治療を受ける患者さんへ



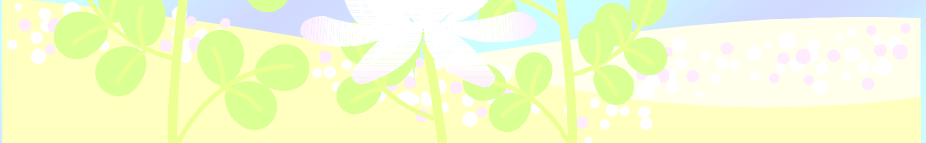
2020年2月

国立がん研究センター中央病院

呼吸器内科・薬剤部・看護部

目次

はじめに	3
化学療法とは	4
カルボプラチン・パクリタキセル療法	5
点滴スケジュール	5
カルボプラチン	6
パクリタキセル	6
その他の薬	7
副作用について	8
どんな副作用があるの？	9
アレルギー症状	10
吐気・嘔吐	11
関節や筋肉の痛み	12
感染症	12
脱毛	13
間質性肺炎	15
手足のしびれ	16
点滴中の血管外への漏れ	16
その他の副作用	18
こんなときは連絡を	20



はじめに

**ちょっとした知識が大きな予防となり、
また正しい治療へつながります。**

抗がん剤治療において、体のことや薬の副作用を患者さんご自身がよく知り、つらい副作用を防いだり、少なくしたりして、安心できる日常生活を送ることはもっとも大切です。

この小冊子にはカルボプラチン・パクリタキセル療法について、薬の内容や起こりうる主な副作用とその対策についてまとめました。これから抗がん剤治療を受けられる皆様にこの小冊子を役立てていただければ幸いです。

国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科グループ

この抗がん剤治療はどういう効果があるの？ いつ副作用が出るの？



どれくらいの間隔で？どれくらいの期間？

どんな副作用があるの？

化学療法とは

**どのような間隔でいつまで治療を続けるの？
抗がん剤は体の中で何をしているの？**

抗がん剤による治療を化学療法といいます。化学療法により、生存期間の延長やQOL（生活の質）の改善が期待されます。

抗がん剤治療は、内服薬や注射薬によって全身へ抗がん剤をいきわたらせることにより、他の場所に転移して全身に広がっていると考えられるがんを治療するものです。抗がん剤とは、がん細胞の細胞分裂過程にはたつき、がん細胞の増殖を防いだり、がん細胞が成長するのに必要な物質を作らせない、あるいは過剰に産生させがん細胞の死滅を促したりする薬です。

治療の間隔や期間は、がんの種類・治療の目標・抗がん剤の種類や副作用の程度によって異なります。休薬期間をもうけることは、副作用を防止したり、体力の低下などに注意したりする必要があるからです。



カルボプラチン・パクリタキセル療法

効果・副作用を考慮して原則 3 週間ごとに点滴を行います。点滴にかかる時間は約 5 時間です。

● 点滴スケジュール

点滴の内容		点滴時間
デキサメタゾン注 ファモチジン注	(吐き気止め) (胃薬・アレルギー予防)	約 15 分
↓		
クロルフェニラミン注	(アレルギー予防)	約 15 分
↓		
パロノセトロン注	(吐き気止め)	約 15 分
↓		
パクリタキセル注	(抗がん剤)	約 3 時間
↓		
カルボプラチン注	(抗がん剤)	約 1 時間



生理食塩液

(点滴管を洗い流す)

約 15 分

無理のないリラックスした姿勢で治療を受けるために、体をしめつけない衣服を着用しましょう。

● カルボプラチン

カルボプラチンは、プラチナ(白金)を含む金属化合物です。がん細胞内の遺伝子本体であるDNAと結合することにより、がん細胞の分裂を止め、やがて死滅させます。

● パクリタキセル

パクリタキセルは、太平洋イチイの樹皮から取り出した成分です。細胞の分裂に必要な「微小管」とよばれるタンパク質が作られる段階を途中で止めるはたらきがあります。その結果、がん細胞が増えることを阻止し、やがて死滅させます。

パクリタキセルの成分や溶解補助剤が原因と考えられるアレルギー症状が報告されています。この症状を予防するために、あらかじめ抗アレルギー薬を点滴します。

また添加剤として無水アルコールを含んでおりますので、アルコールに対しアレルギーのある方やお酒に弱い方は、お伝えください。

● その他の薬

デキサメタゾン注

抗がん剤の吐き気・嘔吐とアレルギー症状を防ぐためにあらかじめ点滴しておきます。

ファモチジン注

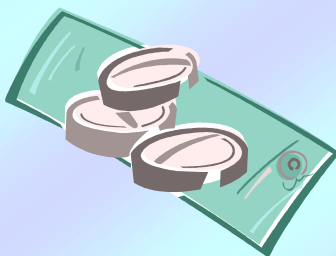
パクリタキセルのアレルギー症状の発現を防ぐためにあらかじめ点滴しておきます。

クロルフェニラミン注

パクリタキセルのアレルギー症状の発現を防ぐためにあらかじめ点滴しておきます。

パロノセトロン注

抗がん剤の吐き気・嘔吐を防ぐためにあらかじめ点滴しておきます。



副作用について

患者さんご自身の注意や工夫で副作用の予防に十分に効果を上げられるものも多くあります。

抗がん剤は、正常な細胞も含め、細胞分裂の速い細胞に影響を及ぼします。そのため、次の部分で副作用がしばしば見られます...

- ☞ 消化管（口内炎・下痢など）
- ☞ 骨髄*（貧血・感染しやすくなる*など）
- ☞ 皮膚や毛根（脱毛・皮膚障害・爪の変化など）
- ☞ 神経組織
- ☞ 生殖機能

* 自覚症状はなく検査を実施してわかる副作用です。

副作用を理解して

あらかじめ予想される副作用を知り、対策を立てておくことで



心の準備ができます。
副作用の予防ができます。
早く適切に対処できます。

● どんな副作用があるの？

抗がん剤の治療による副作用は、早く現れるものから遅く現れるものまで多岐にわたるため、それぞれの時期にあった対応方法が必要です。ご自分の病状に必要な生活上の制限を守ったり、セルフケアを行いながら、治療に臨みましょう。

よく見られる副作用と現れやすい時期

吐き気

感染症(骨髄抑制～白血球減少～)



全ての人に副作用が出るとは限りません。

副作用の種類や程度、現れる時期も患者さんによってさまざまです。

● アレルギー症状

～慎重な観察を行います～

アレルギー症状は点滴中又は点滴後比較的早くに現れます。頻度は高くはありませんが、重症となる場合もあり、すぐに対応することが大切です。このような副作用を防ぐためにあらかじめ別の薬を点滴や内服していただきます。万が一治療中に次のような症状が現れたら、すぐに医師・看護師・薬剤師に伝えてください。

こんな時はすぐにお伝えください

息苦しい・顔がほてる・胸が痛い
発疹が出る・汗が出る

～パクリタキセルとアレルギー症状～

アレルギー症状が起きる時間帯は、パクリタキセル点滴開始後2～3分以内であり、ほとんどが30分以内に発生します。但し、時間をおいて症状がでることもあります。また、初回とは限らず、2回目以降の点滴の際に症状が現れることもあります。

● 吐気・嘔吐

～長く続くと脱水などから全身状態の悪化に～

抗がん剤によって引き起こされる吐気や嘔吐には、次の3種類があります。

- ☞ 点滴直後から数時間以内にみられるもの
- ☞ 点滴終了後24時間以降にみられ、数日間続くもの
- ☞ 薬を点滴すると思っただけで起こる吐気・嘔吐

最近吐気止めの薬でコントロールできるようになっています。

患者さんによって症状の程度はさまざまですが、症状が長く続く場合は、水分や栄養の補給が必要になってきますので、医師・看護師・薬剤師にお伝えください。

吐気・嘔吐を防いだり、軽くするために

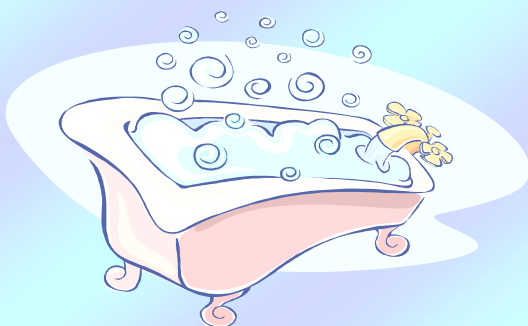
- ◆ 窓をあけて新鮮な空気をいれましょう。
- ◆ リラックスできるスタイルですごしましょう。
- ◆ 食べたいもの、食べられるものを少量ずつ食べましょう。
- ◆ においを不快に感じるものは近くに置かないようにしましょう。
- ◆ 熱いものはおいさが強いので冷ましてから食べましょう。
- ◆ 脂っこいもの・においの強いものは避け、喉ごしのよいもの・さっぱりとしたものを食べましょう。
- ◆ 乳製品などは避けるようにしましょう。

関節や筋肉の痛み

～つらい時はがまんせずに相談～

治療2～3日後あたりから、肩や背中、腰や腕などの筋肉が痛くなったり、関節が痛くなることがあります。

ほとんどは一時的で、5～6日以内に回復しますが、つらい時はがまんせずに医師や看護師・薬剤師



に相談しましょう。

関節や筋肉の痛みが重くならないために

- ◆ 痛みのある部分を温めてみましょう。
- ◆ 体の中心に向かってマッサージしてみましょう。

病院では、鎮痛薬を使うことがあります。

● 感染症

～予防と早期発見で重症になる前に～

抗がん剤の治療で、白血球の数が減少するため、抵抗力が落ちてくる場合があります。抵抗力が落ちた人では感染症が重くなりやすく、全身の臓器が正常にはたらかなくなる可能性も高くなります。特に、白血球の数が最も少なくなる点滴後7～14日目は注意が必要です。感染症を引き起こ

さないため、また、感染しても重篤化させないために、次のような症状があったらすぐに医師・看護師・薬剤師に連絡しましょう。

こんな時はすぐにお伝えください

熱がある・せきが出る・寒気がする・のどが痛い
排尿時に痛みがある・トイレが近い・下痢

感染症の防止のために

- ◆ 必ずうがい、手洗いをしましょう。
- ◆ なるべく人ごみを避けましょう。
- ◆ 風邪をひいている人になるべく近づかないようにしましょう。

病院では、抗菌剤（細菌などの病原体を殺す薬です）や顆粒球増加因子（白血球の数を増やす薬です）を使うことがあります。

脱毛

～避けられない副作用でも治療が終われば約半年で回復～

個人差はありますが、治療2～3週後あたりから毛が抜け始めます。脱毛は一時的なもので、治療が終了して6～8週間には毛がはえ



始め約半年でほぼ回復します。新しく生えてきた毛の質が一時的に変わってしまうことがあります。やがて以前の髪質に戻ってきます。また、髪の毛が抜けるときにピリピリ感が出てくることもあるので、頭皮への刺激はなるべく避けましょう。

脱毛のための準備&髪への負担をかけないために

- ◆ 毛先の柔らかいブラシを使いましょう。
- ◆ シャンプー液は中性の刺激の少ないものを使いましょう。
- ◆ パーマやヘアカラーは控えましょう。
- ◆ 毛髪が散乱しないためナイトキャップやバンダナを活用しましょう。
- ◆ 容姿が気になる場合、あらかじめ帽子やかつらなどを用意しておくといでしょう。
- ◆ あらかじめ毛髪を短めにカットしておくのもよいでしょう。

● 間質性肺炎

～せき、発熱、息切れなどをチェック～

間質性肺炎は、肺が炎症を起こし、機能が低下する病気です。その結果、息切れ、発熱、せき、呼吸困難などの症状が起こり、ときに重い症状になることもあります。抗がん剤治療を受ける前に肺に炎症があったり、肺線

維症を指摘されたことのある方は起こりやすいと考えられています。間質性肺炎の初期には、軽度の発熱、せきなど風邪とよく似た症状が起こることが多く、ただの風邪と見過ごされやすいことがありますので、このような症状が少しでも現れたら、自分で判断せず、すぐに受診しましょう。

早期発見や症状が重くならないために

- ◆ ただの風邪と間違えやすいので自分で判断しないようにしましょう。すぐに担当医師へ連絡しましょう。
- ◆ 日頃から風邪に似た症状があったかどうかチェックし、受診時に担当医師に報告しましょう。

病院では、速やかに必要な検査を行い、適切な治療を行います。

● 手足のしびれ

～ボタンがかけづらい・手先足先がつめたい～

治療3～5日後から手足のびりびり感や、刺すような痛み、感覚が鈍くなったりすることがあります。治療の継続に伴って、症状が強まる傾向に

あり、時には、しびれのために治療を中止することもあります。気がなつた時は、がまんせずに医師や看護師・薬剤師に相談しましょう。

手足のしびれを防ぎ、重くならないために

- ◆ マッサージやしびれている部分を温めましょう。
- ◆ 外傷ややけどに注意しましょう。
- ◆ 重いものはなるべく持たないようにしましょう。
- ◆ ころばないように注意しましょう。

● 点滴中の血管外への漏れ

～違和感・腫れ・痛みがあったらすぐにお伝えください～

注射液が血管（静脈）の外に漏れてしまうと、注射部位が硬くなったり、

腫れて痛みを感じたりすることがあります。

点滴を受けながら、体勢を変えたり、歩いたりすることもできますが、点滴の前にはトイレをすませておいた方が良いでしょう。

点滴の間、体や腕をまったく動かさずにいる必要はありませんが、腕の静脈に針を挿入している場合、体や腕を動かして点滴の針が抜けやすくなることがあります。点滴の管が引っ張られたり、体のどこかで踏んでしまわないように気をつけましょう。



点滴中・点滴後1～3日後に

次のような症状があったらすぐにお伝えください

点滴の針が入ったところに

違和感がある・痛みや灼熱感がある

腫れがある・周りが赤くなっている



● その他の副作用

その他にも、貧血・出血・食欲不振・下痢・便秘・口内炎などが現れる

ことがあります。症状が現れたときはなるべく早めに医師や看護師・薬剤師に連絡しましょう。

貧血 症状…息切れ・動悸・手足が冷たい・倦怠感など

→激しい運動は控え、無理のない範囲でゆっくり動き始めましょう。疲れやすい場合には、十分な休養をとってください。

出血 症状…圧迫による内出血・鼻血・血便・血尿

→けがや打撲に注意しましょう。かみそりは使わず電気かみそりを使うようにしましょう。正座は下肢を圧迫するので避けましょう。

食欲不振

→食べたいときに、好きなものを食べるようにしましょう。長く症状が続く場合は医療スタッフに相談しましょう。

下痢

→脱水予防のため、水分補給を心がけましょう。消化によいものを食べ、食事は何回にも分けて少しずつとるとよいでしょう。排便時は、肛門周囲を清潔に保ちましょう。

便秘

→水分を十分にとり、繊維の多い食べ物をとるとよいでしょう。十分に時間をかけて、おなかをさすりながら排便したり、排便を我慢せず毎日同じくらいの時間にトイレに座ってみると効果的です。

口内炎 症状…しみる・痛み・歯ぐきの腫れ・潰瘍

→治療前に虫歯を治し、常に口腔内を清潔に保ちましょう。歯ブラシはやわらかいものを使いましょう。こまめにうがいをしましょう。料理は熱いものを避け、冷まして食べると炎症部位への刺激が少なくなります。やわらかい料理を多めにすると食べやすいです。

貧血・出血にはまれではありますが輸血で対処することがあります。

下痢・便秘・口内炎などには薬で対処することがあります。



● **こんなときは連絡を**

「重大な副作用」と呼ばれるものには次のようなものがあります。抗がん剤に限らず、どんな薬にもそれぞれの「重大な副作用」があり、まれではあるものの起こると重篤になってしまうものをいいます。もし気になる症状があればすぐにご連絡ください。

(ショック) 発赤・蕁麻疹・唇や手足のしびれ・動悸

(心臓障害) 手足首のむくみ・息切れ・動悸

(聴覚障害) 難聴・耳鳴り

(消化管障害) 吐血・激しい腹痛

(肝障害) 皮膚や目の白い部分が黄色くなる・右側腹部痛

(急性腎不全) 手足首のむくみ・側腹部痛・頭痛

(腸炎) 水のような下痢・下血

(血栓・塞栓症) 手足の痛み・急な息切れ・胸の痛み

(脳梗塞) 片側の手足のしびれ・ろれつがまわらない

(肺梗塞) 息苦しい

(膵炎) 急激な胃痛

(麻痺性イレウス) ひどい腹痛

(溶血性尿毒症) 排尿困難・あざ・血便

(成人呼吸促迫症候群) 38度以上の急な発熱・呼吸困難

(Stevens-Johnson 症候群・Lyell 症候群)

皮膚の灼熱感・水ぶくれ・口内のあれ

Q&A

Q1. 治療を行っている間は、外へ出ない方がいい？

→A1. 基本的に日常生活上の制限はありません。買い物や散歩、また体調がよければ遠出も可能です。外出から戻られた際にはうがいと手洗いをしましょう。また遠出を計画する場合には、タイミングや副作用の対策について担当医とよく相談しましょう。

Q2. 治療中に風邪をひいたら風邪薬を飲んでも良い？

→A2. 抗がん剤の影響を受け白血球の数が少なくなり始めるまで、点滴が終了してから約7日間かかります。それまでのあいだは、市販の風邪薬を飲んでもかまいません。それ以降は、市販の風邪薬を控えて下さい。市販の風邪薬によって本来上がるはずの熱が上がらずに、抗菌薬を服用するタイミングが遅れてしまいます。

Q3. 健康食品や漢方薬は飲んでもいい？

→A3. 健康食品や漢方薬の治療中の服用については、まず主治医に相談するようにしましょう。それらが、抗がん剤とどんな相互作用を起こす危険性があるのか予測できません。服用中、もしくは、これから試してみたい健康食品や漢方薬がある場合は、医師・看護師・薬剤師にお伝えください。

さいごに 正しく安全な治療を受けるために

気になる症状・体調変化

現在飲んでいる・飲み始めた薬

現在飲んでいる・飲み始めたサプリメント

等どんな些細なことでも医療スタッフまでご連絡ください。



病院名 国立がん研究センター中央病院

電話番号 03-3542-2511

担当医師

監修 国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科

ワーキンググループ 薬剤部・呼吸器内科・看護部

